

Title	語文 第25輯 編集後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1965, 25
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68567
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

この号は、特に記念論文集という程のものではないが、巻頭に御写真等を戴いている通り、昨年三月本学を退官された小島吉雄先生を記念する気持で編集したものである。

また本誌には、昭和三十六年夏に第二十四輯を出して以来長い空白を置いて来たという事情があった。小島先生からも度々継続のお勧めを受けていた折から、幸いこれを機に発行を軌道に乗せ定期刊行に戻したいという再発足の気持もある。所収論文を弊学国語国文学会の会員で執筆し、頁数も従来より倍加したが、そのような意図を汲みとって頂ければ幸いです。犬養・林先生からも御寄稿頂ける筈であったが、それぞれ御要事と御病気の為、残念ながら執筆願えなかった。

○ 彙報にも記した通り、宇佐美喜三八先生が昨年二月亡くなられた。先生は本誌とは特に深い関係があつて、実は本号までの長い空白も全く先生の御病気の故であつた。毎号編集や発行に尽力され、御

自身も紙面の必要に応じて長短自在に執筆された。この機会に心から先生に感謝の気持をあらわしたく思う。

○ 一昨々年春移転したばかりの研究室が、また学舎増築によって、いずれ別棟へ移る事になる模様である。今も窓外から轟々たる鉄打の音が響いて来る。耳を聳するばかりと人は言うが、いささか慣れたせいもあつてか、将来の事も思われて、この音が爽快にさえ感じられる。

(松平)

投 稿 規 定

- 直接購読者は投稿することが出来る。
- 原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙三十枚以内とする。
- 原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。
- 原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
- 採用しなかつた原稿は返送料が添付してあれば返送に応ずる。
- 一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

◆ 雑誌の寄贈・交換について

- 雑誌の寄贈・交換は大阪府豊中市柴原 大阪大学文学部 国文学研究室宛に願いたい。

¥ 150

発行所 大阪市南区横堀7丁目19 文進堂 振替大阪112730番 電話船場(251)1990番
編輯者 大阪府豊中市柴原 大阪大学文学部国文学研究室 代表 田 中 裕